

令和6年7月1日発行

こぼと

守口市民生委員児童委員協議会
編集 広報・調査部会



第83号

守口市京阪本通2-5-5
守口市社会福祉協議会内
〒570-0083 電話 6992-2715

令和6年度表彰 (敬称略)

受賞者の皆様
おめでとうございます

(大阪府知事表彰)

優良民生委員表彰(10年)

- 滝井地区 中山 勝正
- 春日地区 安藤 佳江
- 三郷地区 山本 喜代美
- 寺方地区 奥山 寿一
- 八雲地区 村中 京子
- 佐太地区 井筒 直子
- 梶地区 倉谷 あき子
- 金田地区 片岡 恵子
- 東地区 小倉 千代
- 大久保地区 岡本 みゆき
- 藤田地区 愛甲 久子
- 東地区 茶谷 隆子
- 優良主任児童委員表彰(10年)
- 藤田地区 木下 美佐子
- 東地区 武藤 ひとみ
- 東地区 藤川 幸子

災害義援金

令和6年能登半島地震災害義援金
ご協力ありがとうございました
募金総額42万1252円
(社協と合同)

事例 ファイル⑭

Aさんは隣に住むBさんから身に覚えのない誹謗中傷を何度も受け、心療内科に通うほど困っておられました。そこで町会長さんとBさん宅を訪問しました。

Bさんは一人暮らしの高齢女性で、「ご主人を亡くされた寂しさから認知症が進み、「Aさんは主人を誘惑した。今でも家に忍び込んで主人の物を盗んでいく。ひどい女だ!」と怒っています。でもそれは認知症による妄想です。

ケアマネジャーに相談したところ、別居の娘さんがあまり協力的でないため、デイサービスを利用しながら徐々に施設入所を勧め、本人も入所に前向きになっていくとの報告を後日受けました。

今後一人暮らし高齢者の増加でこうした隣人トラブルの増加も予想されます。実際同様のトラブルが数件ありました。改めて今以上に声かけや見守り、さらに地域包括支援センターやケアマネジャーとの連携が必要だと感じた事例でした。

新任民生児童委員紹介 (敬称略)

- 令和6年2月1日委嘱
藤田地区 柳 春美
- 令和6年6月1日委嘱
寺方地区 佐野 真理

2月より民生児童委員として委嘱を受けました。初めてのことで不安もありましたが、先輩委員にアドバイスをもらいながら頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。
柳 春美

大阪地名クイズ

- はなてん 出
- くまた 杭
- ひらかた 方
- かたの 野
- きさいち 市

※答えは欄外に掲載



小地域ネットワーク活動 リーダー研修会(録画配信)

テーマ「地元で働く方と地域住民の協働で創る地域福祉」

講師…ふくしと教育の実践 研究所SORA主宰 新崎国広(社会福祉士)氏

「ふだんのくらしのしあわせの実現を目指して、人と人をつなぐ活動リーダーの心得とは!」
。「話し上手、聴き上手」
。「助け上手、助けられ上手」
。「伴走型支援」を心がける
テーマに基づいて、専門的で充実した内容の講義でした。「吹田しあわせネットワーク」によるアパート火災避難者支援の活動紹介。吹田市社協と福祉委員会(民生児童委員)、連合自治会など21施設、団体が協働、避難者のニーズにスピード感をもって対応。日頃の「顔なじみ」の関係がスムーズな支援に繋がった、参考になる実践報告でした。阪南市「漁福連携」

「みんなの食堂」毎月1回漁港で開催。民生児童委員の漁師さんが社協に提案し始まったボランティア活動。「今後もっと色々なイベントを開催してみんなの居場所づくりや就労支援にも役立てたい」と主催者は楽しそうに、熱い思いを語っていました。
寺島 登志子

編集後記

能登半島地震のその後

令和6年1月1日お正月の帰省中に震度7の地震に見舞われ、珠洲市の小さな山間の集落の集会所で避難生活を両親とともに過ごし、1週間後に6時間かけて白山市の妹宅に身を寄せました。あれから早4ヶ月も過ぎ、高齢の父母は家に帰りたいたい、田舎の自宅へと続く桃源郷のような桜並木道に思いをはせ、近々やっとな帰るつもりでいます。

これからの2人の生活に向けて子どもたち一同手助けをしながら、エールを送り続けたいと思います。帰りたいたい場所に戻ろう、そして笑顔の2人に会いに行こう!
寺尾 文子



珠洲市の自宅前

新年初会合

1月19日(金)ホテルアゴラ守口において、ご来賓の方々と、はとの会の諸先輩方をお迎えし、161名の参加で開催されました。コロナ禍で自粛を余儀なくされていたため、4年ぶりの開催となり、感慨深いものがありました。今年度は元旦に起きた能登半島地震で被災され、亡くなられた方々のご冥福を祈り、黙祷から始まりました。その後、萩原会長が4年ぶりの開催に思いをはせ、コロナ禍で制限のある中での活動を振り返って語られました。そして、来賓の瀬野憲一市長からは、年明けの能登半島地震の災害のため、府から200名以上、のべ800名以上の職員が応援に行き、守口、門真からも数名が能登に駆けつけたことを話されました。次に、守口市議会副議長の高島賢氏からは、この地震を教訓に、南海トラフ地震への備え、地域とのコミュニケーションに長けた民生児童委員と協力し、対策していきたいとの言葉をいただきました。

そして乾杯の後、和やかに会食が始まりましたが、冥も



大正琴の美しい音色に聴きほれました

たけなわの頃、大正琴の演奏がありました。大阪琴扇修会守口神木教室の皆様による演奏でしたが、副会主松井琴修氏に率いられた演奏しているのは、民生児童委員の中場氏(守口)と下村氏(梶)、はとの会の北本様でした。「君恋し」から始まり、今話題の「東京ブギウギ」まで全4曲を披露され、途中、手拍子や踊る人まで現れ、大盛況のうちに終わりました。

改選後初めて新年初会合に参加した委員も多く、楽しいひと時を過ごし、絆を一層強くした会合であったと思います。
田畑 睦子

管外研修

令和5年11月16、17日

広島 平和への祈り

令和5年5月に新型コロナウイルスによる行動制限が緩和され、様々な活動が再開される中、管外研修も1泊では4年ぶりに開催となりました。11月16日から広島方面への2日間は、地区や部会を越えた委員同士の情報交換や交流を深める場となり、はとの会、事務局の方々とも近しく時間を共有できた、とても有意義なものとなりました。

広島市の平和記念資料館には、一瞬にして全てを破壊してしまふ非人道的な原子爆弾の恐ろしさを通じ、広島がうけた凄惨な経験を二度と繰り返すことのない「ノーモア・ヒロシマ」の理念を掲げた平和への願い、祈りが捧げられています。

平成28年に現役大統領として初めて広島を訪れたオバマ大統領は、「恐怖の論理から逃れ、核兵器のない世界を追求する勇気を持たなければならぬ」と世界の政治指導者に呼びかけました。大統領の手折りの折鶴は、今も大切に展示されています。



世界遺産厳島神社 70年ぶりに美しくよみがえった大鳥居

山口 浩子

～ところ変われば品変わる～

東京都渋谷区民児協視察団来訪

年明けの1月17日、東京都渋谷区民児協の視察団来訪を受け、社協事務所会議室で意見交換会を行いました。

府民児協の情報から、私たちが数年前から行っている「高齢者防災見守り安心事業」に興味を持たれたようで、それを含めたお互いの活動内容紹介や抱える課題について率直な話し合いができました。

渋谷区では、守口市の約1.6倍の人口約23万人に対して、委員定数が7地区198人と少なく、当然一人当たりの見守り対象者が多くなり小まめなお世話が難しいことや、マンションが多くセキュリティの制限で訪問活動に支障をきたすことが多々あるなど都心ならではの悩みが語られました。

一方で、次世代の担い手不足など共通の課題もあり、短時間でしたがお互いの認識を深めあう貴重なひと時となりました。

奥山 寿一



部会活動報告

生活福祉部会文化教室

2月14日(水) 午後生活福祉部会の企画でプローチ作りに参加しました。個人用に全て用意されていて、手ぶらで参加できる安心感がありました。準備していただいた方に感謝いたします。



ステキなプローチができた!

つまみ絵のようにクルッと巻くのが20数個あり、初めは楽しかったのですが、だんだん指と腕が疲れてきて、大雑把なことしかできなくなって自分の自分を感じました。出来上がってみると中々上品なプローチになりました。レースで春らしいプローチにするのもいいなあと思いついて、さてどこに付けようかと服やカバン、スカーフに合わせてみています。楽しい企画をありがとうございました。

山川 文子



指の運動になるなあ

児童福祉部会研修会

令和6年3月26日 中部エリアコミセン会議室
「守口市の児童虐待の現状」
講師・子育て世代包括支援センター(あえる) 主幹三宅氏、平野氏 参加者37名

児童福祉と母子保健の一体となったチームで対応した事例がありました。妊娠中に胎児への愛着が見られず、出産後は一時保護を児童相談所に打診していた事案で、チームの皆さんの対応のおかげで、出産後劇的な変化があり、子への愛着が芽生え、育児に向き合い、精神状態も安定し、現在自宅で療育できているそうです。

児童虐待のニュースもたびたび目にします。一人でも多くの子どもが守られたらと思います。

井筒 直子



今後の「あえる」に期待を!

河北ブロック主任児童委員連絡会研修会



鍛えよう「視える力」

令和5年12月11日(月)、大東市立総合文化センターで開催された河北ブロック主任児童委員連絡会研修会に参加しました。大東市の「フロムアースキッズ」という公民連携の子育て複合施設で、全国でも珍しいビジョントレーニングの教室を運営する吉田直樹氏にお話をうかがいました。

音読や球技が苦手な子どもは「目」がうまく使えていないことが原因かもしれないこと、改善トレーニングをしたりすることで集中力や作業の向上が期待できるそうです。眼球を動かす筋肉を鍛える体操(前に伸ばした自分の親指を、前後左右上下斜めとゆっくり動かし、首を動かさず目だけで追っていく)を覚えていただきました。体操をする前後で体の柔軟性が変化していてビックリ。

興味深いお話であつという間に時間が過ぎた研修でした。

尾崎 衣津子

河北ブロック民児協連絡総会



色々な意見が飛びかいました

河北ブロック民児協連絡総会に参加いたしました。担当市は大東市で、参加者は45名でした。

各市より令和5年度状況調査及び事業報告があり、タブレットを委員に配布、グループLINE等で連絡調整や会議資料の確認、今の時代の離乳食の考え方、「赤ちゃんは泣いてもいいよ」プロジェクトで子育てを応援、ヤングケアラー、引きこもりの現状と理解等々、多くの報告がありました。

守口市も地域福祉の推進と参画、キッズキャンパス(子ども食堂)、安否確認タオルの配布等について萩原会長が報告されました。次世代へのバトンタッチが難しいとの苦勞が、第2部情報交換会でも共通の話題とな



皆様熱心に聞き入っていました

中西 厚子

人権研修

2月27日(火) 守口文化センターエナジーホールに司法書士の奥原高子氏をお招きして、「令和5年度人権研修会」を開催しました。「権利擁護・成年後見制度について」の講演でしたが、非常に分かりやすく説明していただきました。

大井 由喜子

成年後見制度には、法定後見制度と任意後見制度の2つの制度があります。これからますます高齢化社会になることが予想され、誰にとっても知っておくことの重要性を実感しました。

地区活動紹介

錦地区



みんなでカラコロ体操1・2・3

私たちの地域では高齢者を中心に、毎週水曜日の朝に「スロージョギング」、毎週金曜日の朝に「カラコロ体操」を始めて4年ほどになります。スロージョギングは歩く速さでジョギングすることで、高齢者でも負担なく呼吸ができ、会話しながらでも可能です。ジョギング終了後は公園でラジオ体操とストレッチ、水を入れたペットボトルをダンベル代わりに筋力アップなど、一通り終わるとそこは井戸端会議の場に。あーでもないこーでもないと話に花が咲き楽しそうです。カラコロ体操は集会所で童謡に合わせて行う体操で、どちらにも12名、15名の方が参加、その中で80代の方が8名、

70代の方が6名、今では一週間のリズムになっています。認知症予防、運動不足解消に、一人でも多くの方に参加していただけたらと思います。

岡野 千鶴子

下島地区

「午後の集い」
2月7日(水)と3月7日(木)、地域の会館で福祉委員の皆さんと「午後の集い」を開催しました。

両日とも出演していただいた「ひまわり劇団」の皆さんは、腹話術あり演奏あり歌ありクイズあり体操あり、と非常に盛り沢山の内容をテンポ良く進めて下さいました。劇団メンバーには防災士の方もおられ、寝る時に枕元に置く良いグッズも教えていただきました。ちなみに、懐中電灯・軍手・靴・笛だそうです。

後半の「ビンゴ大会」も大いに盛り上がり、笑い声の絶えない楽しい時間を過ごすことができました。毎回楽しみにしていたいただいている地域の方々のためにも、一段と楽しい内容で来年もまた開催したいと思っております。

尾崎 衣津子

下島文化祭

11月19日(日)、下島文化祭に参加させていただきました。コロナのため4年ぶりの開催でした。八雲地区と小学校を合併し、新しく校舎を建て替えるため、下島小学校での最後の文化祭となりました。

今年の展示は今まで作ってきた思い出の作品を出品させていただきました。地域の方々も大勢来場して下さい、楽しんでいただきました。福祉委員会では粗品としてお菓子とお茶をお渡しさせていただきました。

新しくなった学校で、文化祭が開催されるのを楽しみに活動していきたいと思っております。

福祉委員 新海 富士子



色とりどりの素敵な作品が並びました